

第2回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立市岡高等学校
校長名	辻本 利勝

開催日時	令和7年11月10日(火)15:45~
開催場所	大阪府立市岡高等学校 2階 応接室
出席者(委員)	福島秀晃会長、木村幹彦委員、岸野圭吾委員、金庫利行委員、笠井やよい委員
出席者(学校)	辻本利勝校長、河村未来教頭、柴田卓首席、水野翔平首席、島田浩史教諭、森谷晃子教諭、大倉哲也教諭、中野瑛教諭、荒木ちひろ教諭、中嶋仁志教諭
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度教育課程実施計画 ・3年生(令和7年度卒業予定生)進路状況について ・「総合的な探求の時間」について ・学校教育自己診断質問項目 ・市岡高校 令和10年度以降の公立高等学校入学者選抜に係る学校特色枠について
議題等	<p>(1) 学校長あいさつ</p> <p>(2) 確認・報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「教員の授業とその他の教育活動に関する意見書」について ②「令和8年度使用教科書選定について」(報告) ③令和8年度教育課程について ④今年度の各種取り組みの進捗状況について <ul style="list-style-type: none"> (i) 3年生(令和7年度卒業予定生)進路状況について (ii)「総合的な探求の時間」について ⑤令和7年度第一回授業アンケート結果及び第二回授業アンケート実施について ⑥学校教育自己診断の実施について ⑦令和10年度以降の公立高等学校入試選抜に係る特色枠について。 <p>(3) 協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和10年度以降の公立高等学校入学者選抜に係る学校特色枠について ・授業力について
協議内容・承認事項等(意見の概要)	<p>(2)確認・報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「教員の授業とその他の教育活動に関する意見書」について <ul style="list-style-type: none"> ・意見書の提出がなかった。 ②「令和8年度使用教科書選定について」(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・府教委に報告後、承認された。 ③令和8年度教育課程について <ul style="list-style-type: none"> ・実態に合わせて、昨年度から「倫理演習」「政経演習」「数学Ⅱbc発展演習」を削除した。 ④今年度の各種取り組みの進捗状況について <ul style="list-style-type: none"> (i) 3年生(令和7年度卒業予定生)進路状況について <ul style="list-style-type: none"> ・指定校推薦は1年生のときから、第一志望のみ出願可能であると指導。 ・共通テストはWeb出願に変更されたため、丁寧に説明し出願させた。

- ・近年、公立大学推薦入試は厳しい状況が続いており、生徒と担任と相談し出願。
- ・夏休みの一日介護体験、大学説明会を増やすなど、新たな取り組みとして行った。

(ii)「総合的な探求の時間」について

- ・今年度は新たな取り組みもあり、生徒、教員とも模索しながら行った。
- ・来年度は港区まちづくりセンターとの連携を行う。
- ・その試行として今年度1年生を対象に同センターと連携して計5回実施する予定。

⑤令和7年度第一回授業アンケート結果及び第二回授業アンケート実施について

- ・第1回は7月に実施され、平均点3.43と高水準の結果となった。
- ・次回は12月の短縮期間で行われる予定。

⑥学校教育自己診断の実施について

- ・経年比較のため、昨年度とは質問項目を変えていない。
- ・保護者には12月中に、生徒は12月17日に実施する予定である。
- ・結果は第三回学校運営協議会で報告予定。

⑦令和10年度以降の公立高等学校入試選抜に係る特色枠について。

- ・本校としては選抜方法を三種類示している。(資料参照)
- ・それぞれ、10%ずつ計30%を特色枠選抜として入学させる。
- ・面接試験の具体的な内容については検討中である。

(3)協議

[令和10年度以降の公立高等学校入学者選抜に係る学校特色枠について]

- ・特色枠の調査書比率については学校が決定するのか？
→本校で450点満点になるように計算しなおし独自に算出する。
- ・どのような生徒が入学してほしいのか示すための指針になると考えている。
- ・学力のみを重視する特色入試の在り方では、本校がめざす生徒像とは合致していないため、このような選抜方法を考えた。
- ・面接試験における点数化の方法については、検討中であり、時間をかけて議論したいと考えている。

(意見)

- ・すべての層の生徒に本校を志望してもらうには良い。
- ・保護者の立場からすると、高校ごとに異なる基準があるため、煩雑に感じるため、シンプルな方がよい。
- ・オープンスクールなどで直接周知するほうが分かってもらえるのではないか。
- ・中学校の教員に対して好印象をもってもらえるよう働きかける必要。

[授業力について]

- ・生徒が静かに受講していたことが印象的だった。
- ・生徒間でのアウトプットが最も効率が高いため、そのような授業の組み立てが大事
- ・生徒と教員との双方向の展開ができていることが多かった。

(意見)

- ・生徒同士が学習しあう仕組みを授業の中で作っていければよい。
- ・何ができるようになるかを目的に、生徒全体の活動を増やした授業展開を。